

啓発活動への参加について

1 「バス・鉄道ミニフェスタ」の開催

(1) 活動の趣旨

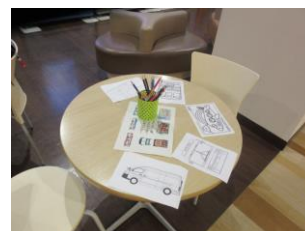
「松江市一斉ノーマイカーウィーク」に先立ち、バス・鉄道のイベントを実施することで、普段マイカーを利用している市民に取り組みに周知するとともに参加を促し、今後の公共交通利用者の増加を図る。また、連合島根主催によるバス乗り方教室を開催する。

(2) 活動の概要

ア 事業主体 (順不同)	松江市公共交通利用促進市民会議、松江市、松江市教育委員会、島根県、国土交通省中国地方整備局松江国道事務所、国土交通省中国運輸局島根運輸支局、 (一社) 島根県旅客自動車協会、松江商工会議所、連合島根 一畑バス(株)、松江交通局、日ノ丸自動車、西日本旅客鉄道(株) 米子支社、 一畑電車(株)
イ 日 時	平成 30 年 10 月 14 日(日) 10 時～14 時
ウ 場 所	イオン松江ショッピングセンター
エ 内 容	

イベント	内 容	成 果
イベントブース 会場：2 階休憩スペース	公共交通塗り絵コーナー	延べ来場者数 220 名
	交通事業者による広報活動	
	バス紙芝居の上演	延べ来場者数 130 名
チラシ配布 会場：店内出入口各所	チラシ(ポケットティッシュ付き)の配布 (主催・共催団体の担当職員により対応)	チラシ配布数 1,100 枚
バス乗り方教室 会場：北側駐車場	連合島根主催により、バスの乗り方や乗降マナー、バスカードの取扱いなどについてバス車内で説明を行う (協力：一畑バス。開催は 11 時半、13 時半の 2 回)	参加者数 35 名

(3) 活動状況



(4) まとめ

- マイカー利用者が集う大規模集客施設でノーマイカーウィークの事前周知を行うことができた。
- イベントブースには、開始から終了までの間、親子連れが途切れることなく多数来場され、取り組みの普及啓発活動を実施することができた。
- バス紙芝居を上演中、通りすがりの買い物客が立ち止まり、聞き入る様子が見受けられた。

2 「第9回バスまつり」への参加

(1) 活動の趣旨

バスまつりに、松江市公共交通利用促進市民会議として参加した。

(2) 活動の概要

ア 日 時：平成 30 年 10 月 20 日(土) 10 時 30 分～15 時

イ 場 所：くにびきメッセ (来場者 2,000 人)

ウ 内 容：

イベント	内 容
バス紙芝居の上演 対応：島根大学飯野研究室	・バスの乗り方やマナー等を学べる、バスを題材にした紙芝居の上演（上演は 11 時 40 分からの 1 回） ・上演は、メインステージのスクリーンを使用し、会場内の来場者が見ることができるようにした ・制作は島根大学・飯野研究室と松江高専・漫画研究同好会が行った
公共交通塗り絵コーナーの設置	・路線バス、鉄道車両、飛行機の塗り絵コーナーの設置 ・保護者に対し、アンケートの協力依頼を行った
パネル展示	以下の取り組みについて紹介 ・市民会議 ・ノーマイカーウィーク ・とってもお得バス利用事業

(3) 活動状況



(4) まとめ

- 来場者約 2,000 人に対し、市民会議の活動を周知することができた。
- 市民会議ブースに設置したバス塗り絵コーナーには、乗り物好きな親子連れ約 150 人が来場した。一定時間、保護者が滞留するため、アンケートの依頼、応答が非常に良かった。
- 11 時 40 分からは、前方スクリーンを使って「バス紙芝居」を上映し、会場内の親子連れに見ていただくことができた。

3 「第 25 回松江市環境フェスティバル」への参加

(1) 活動の趣旨

市民の環境意識啓発の一環となることから、松江市公共交通利用促進市民会議として参加した。

(2) 活動の概要

日 時：平成 30 年 11 月 4 日(日) 10 時～15 時

場 所：くにびきメッセ (来場者 7,000 人)

内 容：市民会議パネル展示、交通局ハイブリットバス展示

(3) 活動状況



(4) まとめ

○パネル展示を行い、市民会議の活動について PR できた。

○ハイブリットバスを展示し、受付に時刻表などを置き、バス利用促進を図った。

○バス車内は見学自由としたが、運転席には子どもが常時座っている状態だった。子どものバスそのものに対する興味は他イベントでも高いため、誘客のツールとして車両展示は非常に有用であると実感した。